

大深度地下トンネル工事による地盤沈下の恐れはないのですか。

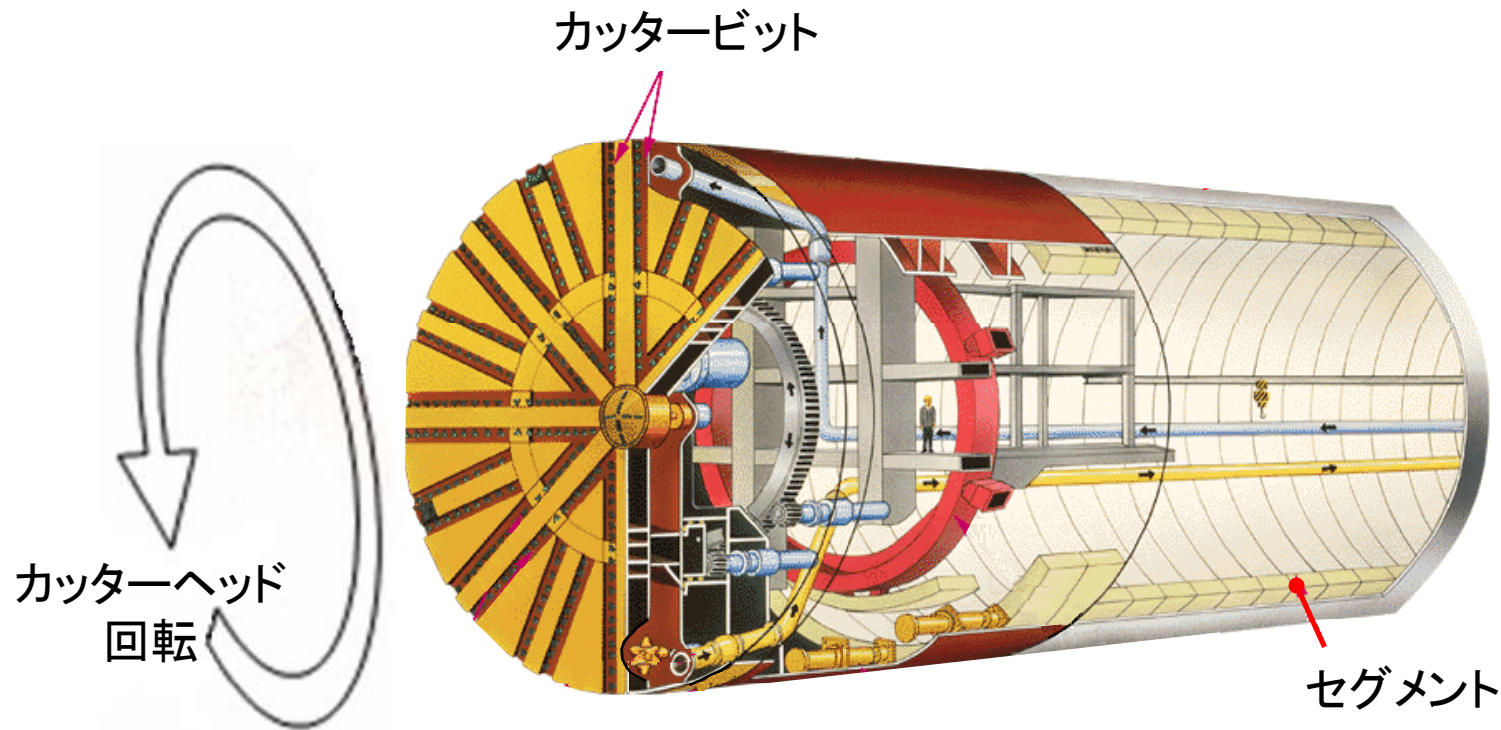
- 強固な支持地盤上面より更に深い大深度地下部分を、数多くの実績があるシールド工法で施工するため、地盤沈下が発生することはないと考えています。

大深度地下トンネル工事による地下水への影響は問題ないのですか。

- 大深度地下部分は、シールド工法により施工します。
- シールド工法において、漏水が生じることはほとんどなく、地下水の水位への影響はないものと考えています。
- また、大深度地下トンネルの標準的な断面の外径は約14mであり、これまでの文献及び地質調査から想定される帯水層の広がりに対して小さいことから、地下水への影響は小さいと考えています。
- 非常口等の工事及び存在に伴う地下水への影響については、三次元浸透流解析により予測を行い、影響が小さいことを確認しています。

大深度地下トンネル工事による騒音や振動は問題ないのですか。

- 大深度地下は、強固な支持地盤上面より更に深い箇所となりますので、シールド掘削中に生じるカッタービットからの切削音、送泥水音などが地盤を伝わって地上部分において騒音・振動が問題となることはないものと考えています。
- 今後、他の事業における最新の施工事例等を参考に、工事計画を具体化していきます。



シールド機の概要

大深度地下トンネル工事に伴う発生土はどのように処理するのですか。

- 発生土を有効に活用いただけるよう、都県に相談しながら進めていきます。

工事用車両の運行ルートはどのように考えているのですか。

- 環境影響評価にあたって、工事用車両の運行に使用する道路については、周囲にお住まいの皆様の生活環境等を考慮し、できる限り既存の幹線道路を利用するか、あるいは道路の現況を踏まえてできる限り短い距離で既存の幹線道路に至るルートを選択し、予測・評価しました。
- 今後、更に運行計画を検討、深度化してまいります。
- また、工事を始める前に、工事説明会など、地元の皆様に説明させていただきます。

沿線などへの磁界の影響は問題ないのですか。

- 環境影響評価において明らかにしているように、磁界の影響については全く問題ありません。
- 平成25年12月5日に、山梨リニア実験線で報道関係者や磁界の専門家に対して磁界測定のパブリックコメントを行い、磁界の影響が問題ないことをご確認頂きました。